



社会保険労務士法人柳澤会計Support Letter

トピックス！ 算定基礎届・労働保険年度更新手続きをお忘れなく！

今年も労働保険年度更新・社会保険算定基礎届 提出の時期がやってきました。
平成30年度のスケジュールは以下のとおりです。

【労働保険年度更新手続き（申告・納付）】

申告期間： 6月1日（金）～7月10日（火）

申告先： 都道府県労働局、労働基準監督署、金融機関の窓口

申告内容： 平成30年度 確定保険料の申告・納付

H29.4.1～H30.3.31の賃金総額に労災保険と雇用保険の保険料率を掛けて確定保険料を算出します。

その確定保険料と、昨年納付したH29年度の概算保険料を比べて、概算保険料が多ければその差額を次年度に充当します。確定保険料のほうが多ければ、その差額を追加納付します。

平成30年度 概算保険料の申告・納付

H29.4.1～H30.3.31の賃金総額の見込み額に労災保険と雇用保険の保険料率を掛けて保険料を算出し納付します。

【社会保険算定基礎届の提出】

申告期間： 7月2日（月）～7月10日（火）

申告先： 管轄年金事務所

申告内容： 7月1日現在の社会保険のすべての被保険者について、H30年4、5、6月の3か月の報酬額やその平均額を記入し、総括表とともに提出します。



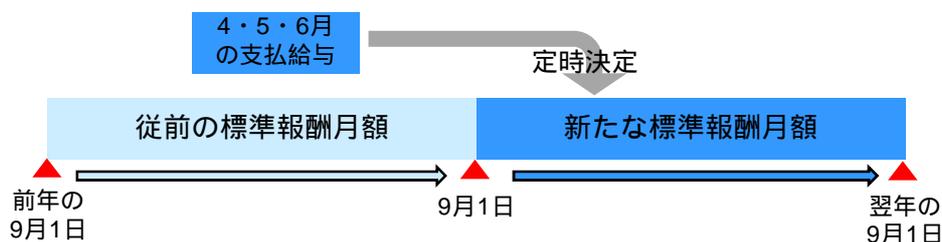
算定基礎届

労働保険年度更新とは

年度更新の対象となる労働保険料とは「労災保険料」「雇用保険料」を合わせたものです。この労働保険料は継続事業の場合、毎年、その年度の保険料を概算で払います。年度終了後（原則として6/1～7/10）に、今度は確定保険料として申告し、概算保険料との差額を精算します。この作業を毎年繰り返して行う必要があります。この手続きを「労働保険の年度更新」といいます。

算定基礎届とは

社会保険の制度では、原則として、1年に1度、全ての被保険者を対象にして、その年の4・5・6月の支払い給与を基礎に、1年間の標準報酬月額を決定します。新しい標準報酬月額は、その年の9月分社会保険料から適用され、原則として、1年間その標準報酬月額が継続適用されます。この届け出による標準報酬月額の決定は、1年に1度、定期的に行われる為、定時決定と言われます。





マンスリーピックアップ

新卒の初任給が変わる ～ファーウェイとメルカリの取り組み～

<ファーウェイの初任給>

みなさん、ファーウェイ・ショックという言葉をご存知でしょうか？

ファーウェイの日本法人が就職情報誌において提示した新卒の初任給が、学部卒で約40万円、修士修了で約43万円という圧倒的な金額で大きな話題となった出来事です。

日本企業の大卒初任給は20万円程度、比較的給料が高い企業でも25万円程度ですから、ファーウェイがいかに高いかわかっていただけだと思います。



ファーウェイがどんな企業かと調べてみたところ、中国本社の通信端末、通信機器メーカーで、スマホの販売台数、シェアはアップル、サムスンに次ぐ世界第3位です。

毎年、売上高の10%以上を継続して研究開発に投資するなど、先端技術開発への投資を積極的に行っています。またCEO3人が輪番制度をとっていて、半年単位で交代するというユニークな経営体制です。

ファーウェイは世界170カ国以上に進出し、従業員数は18万人以上、その半分近くがエンジニアです。

ファーウェイ本社のエンジニアの初任給は日本円で月額約83万円。日本で募集した初任給の倍です。エンジニアの人件費は中国よりも日本のほうが圧倒的に格安だという実態がそこにあります。中国と日本の序列が逆転しているという現実を思い知らされ、ショックが広がっているのです。

ファーウェイは、年収3千万円で日本の電機大手から社員を引き抜いているという話があります。

給料の高い外資系企業といえば、投資銀行とか、証券会社などを思い浮かべますが、製造業のメーカーがここまでの給料を提示することにも、さらにショックを受けたわけです。

日本企業の場合、技術職であろうと事務職であろうと初任給は基本的には変わりません。ファーウェイが日本企業の平均初任給の約2倍で募集をかけているため、優秀な人材が外資系に流出してしまう危機にさらされているのです。

外資系企業の給料の高さが際立っていますが、かつて日本はもっともコストが高い国と思われていました。今となってはもっとも安上がりな国かもしれません。

<メルカリの初任給>



メルカリは一律初任給を廃止し、個人の能力や経験に応じた給与額を提示、さらに内定者のスキルアップを支援し、内定期間中の昇給も実施する取り組みを始めました。これには内定から入社まで1年の学生生活があり、その間も成長をしてほしいという思いが込められています。

上記の取り組みは2018年4月入社以降に新卒入社するエンジニア職・プロデューサー職・デザイナー職が対象です。また、内定期間中に、学内外での活動を通してスキルアップした場合は、入社後の初任給に反映させます。結果、人によっては新卒の年俸が数百万円異なるケースもあるようです。

メルカリのホームページによると、それぞれのスキル・経験に差があり、一律の初任給では適切な評価が難しいと感じていたため、このような取り組みを始めたとのことでした。

○メルカリの働き方の特徴

- ・成果主義
- ・プロダクト系職種は12時～17時をコアタイムとするフレックスタイム制
- ・希望のパソコンを希望のスペックで用意。最新のパソコンが発売されれば、すぐに交換可能。技術書の購入も全額支援
- ・副業推奨
- ・ドリンク無料

いかがですか。メルカリがいかに最高の人材を求めているか、魅力ある会社にするには何をすべきか、ヒントがたくさんあったのではないのでしょうか。

しかし、リクルートワークス研究所によると、社会に出る学生の多くが、実は昔ながらの「年功序列」で「安定的」な働き方を以前よりもより求めているそうです。実力主義は日本に馴染まないかもしれません。



梅雨入りもまもなくですね。長野県を含む関東甲信地方では、平年だと6月8日頃に梅雨入りし、梅雨明けは7月21日頃とのことです。ところでこの時期にニュースなどで目にしたり耳にする「梅雨の入り明け」というのは、速報値であって、実際には、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮して検討を行ったうえで9月頃に統計値として確定するのだそうです。

梅雨の時期はなんとなく鬱々としてしまいがちですが、梅雨の晴れ間には意識して日光を浴びる、というのもよいのだそうです。そして、梅雨が終わればいよいよ夏がやってきます。皆さまどうぞお元気で過ごしてください。(上地麻香)

